

■ 阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】：ポットホールの発生を予測する技術
【背景・課題】： ポットホールは走行車両の安全性に悪影響を与えるため、できるだけ発生を抑えたいが、舗装の施工条件や天候などの影響で完全に発生を抑えることができない。できるだけ効率的なポットホール対策を行うために、発生箇所の予測技術を構築したい。
【ゴール・目標】： ポットホールに関する点検結果の統計解析や画像解析等によってポットホール発生箇所を予測する。
【実現イメージ】： ・都市高速道路を建設・管理する総合的な技術 ・将来にわたる使用のための管理・更新手法の実現
【取組み】： ・IoT、3次元モデル、ロボット等の新技術を活用して維持管理を高度化・効率化
【対象設備－対象構造物】： ・点検 － 点検 ・舗装 － 舗装
【業務分野】： ・維持管理

(2022年9月時点)